

【開催報告】

京都政策研究センターが開催している、下鴨サロン※において当学科教員による講演がおこなわれましたので以下の通り報告します。当日は1時間の講演後に、30分たっぷり活発な質疑応答があり、和やかでかつ真剣な議論が交わされました。

※下鴨サロンとは、府大教員の教育研究内容を、広く府の職員の方々にも知って頂き、教員と府職員によるざっくばらんに政策論議をする場として開催しています。ここでの議論は、肩書はをはずし、既存の政策の枠組みにとらわれない議論をめざしています。



テーマ：「早生樹センダン—大注目される成長ポテンシャル—」

日時：1月19日（木）18:30～20:00

場所：京都府庁旧本館 府庁NPOパートナーシップセンター会議室

講師：京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 環境科学専攻 森林資源循環学研究室 助教 糟谷信彦氏

【内容】

近年、全国的に早生樹の植林に注目が集まっています。今年度の「森林・林業白書」に早生樹のセンダン (*Melia azedarach*) が2回も登場しました。スギやヒノキの伐採跡地に、早生樹のセンダンを植えればわずか10~20年で収穫が見込めるとされ、近畿中国森林管理局では重点取組事項として福井県、岡山県、兵庫県などに大学と共同で試験植林を開始しています。針葉樹人工林では収穫までに通常50年以上かかりますが、木材価格の下落から持続的な林業経営が難しい状況が続いています。従来から木材の需要拡大のため、国産広葉樹の活用が検討されてきましたが、特に有用材として近年注目を集めている早生樹のセンダンは、これまで九州の熊本県で植栽試験が行われ、センダンの育成方法が確立しています。しかしながら、九州以外の地域で植林された事例はほとんどなく、関西地域を中心に植栽試験を始めており、その取り組みを紹介しつつ今後の可能性について語りしたいと思います。



平成28年度 第5回 下鴨サロン
マツセイジロ
早生樹センダン
—大注目される成長ポテンシャル—

* 1月19日(木) 18:30~20:00
* at 京都府庁旧本館 府庁NPOパートナーシップセンター会議室

*お問い合わせ・お申込み
京都府立大学施設管理センター 岡山、長谷川
Tel:075-703-5319 E-mail: kplinfo@kpu.ac.jp

かすせいのろこ
糟谷 信彦
京都府立大学大学院 生命環境科学研究科
環境科学専攻 森林資源循環学研究室 助教

経歴
平成3年 京都大学理学部
平成4年 京都府立大学理学部助教
平成14年 京都府立大学大学院生命環境科学研究科助教
平成20年 京都府立大学大学院生命環境科学研究科助教

近年、全国的に早生樹の植林に注目が集まっています。今年度の「森林・林業白書」に早生樹のセンダン (*Melia azedarach*) が2回も登場しました。スギやヒノキの伐採跡地に、早生樹のセンダンを植えればわずか10~20年で収穫が見込めるとされ、近畿中国森林管理局では重点取組事項として福井県、岡山県、兵庫県などに大学と共同で試験植林を開始しています。針葉樹人工林では収穫までに通常50年以上かかりますが、木材価格の下落から持続的な林業経営が難しい状況が続いています。従来から木材の需要拡大のため、国産広葉樹の活用が検討されてきましたが、特に有用材として近年注目を集めている早生樹のセンダンは、これまで九州の熊本県で植栽試験が行われ、センダンの育成方法が確立しています。しかしながら、九州以外の地域で植林された事例はほとんどなく、関西地域を中心に植栽試験を始めており、その取り組みを紹介しつつ今後の可能性について語りしたいと思います。

※「下鴨サロン」とは？
京都政策研究センターでは、年度当初から府大教員の教育研究内容を、広く府の職員の方にも知って頂き、教員と府職員によるざっくばらんな政策論議の場として「下鴨サロン」を開催しています。ここでの議論は、肩書はをはずし、既存の政策の枠組みにとらわれない議論をめざしています。また、平成28年度から、京都府職員の方にも講師を務めていただいています。